

活力ある奥中山地域を目指して ～ 県単事業を活用したきめ細かな整備 ～



一戸町産業部農林課
中村 秀樹

事業で整備した融雪期の
湧水処理管（奥中山地区）

1 奥中山地域の概要

【主な畑作物】

春～秋 レタス、キャベツ、スイートコーン等の露地野菜

冬期間 アスパラガス、タラの芽等のハウス園芸作物



2 奥中山地域の課題



国営かんがい排水事業・県営畑地帯総合整備事業により
レタス栽培の省力化・安定化が図られ、作付を拡大したい

課題

- (1) 作付拡大するための**農地の確保**
- (2) 限られた**農地の有効利用**
- (3) **大型機械**が入れるような**農地への整備**
- (4) 担い手等による**継続した作付**

3 解決策の検討

(1) まず何をどうすれば良い？

すぐに農地を見つけるのは困難 ⇒ 農地の有効利用が必要
そのためには

耕作している広い畑の
一部が排水不良



小さな旧水田、遊休農地



簡易な基盤整備が必要

局所的な湧水処理

区画の拡大、不陸整正

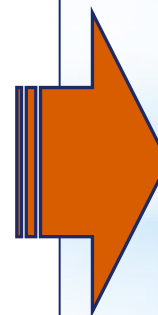
3 解決策の検討 (2) 導入すべき補助事業は？

- 条件① 大きな事業ではない
- 条件② 農地集積が要件ではない
- 条件③ できれば農家負担が少ない

導入できる
補助事業は？



- (国庫補助) 経営体育成基盤整備事業は？
 - × 経営体は既にある
 - × 集積が要件
 - × 一定面積が必要
- (国庫補助) 農地耕作条件改善事業は？
 - × 農地中間管理機構との連携が必要
 - × 集積が要件
- (国庫補助) 農業基盤整備促進事業は？
 - × 受益面積が5ha以上



条件が
合わない

困った ↷

3 解決策の検討

(3) 導入すべき
補助事業はこれ！

活力ある中山間地域基盤整備事業実施要領

(趣旨) 第1 この要領は、営農の条件不利地の多い中山間地域において多様な農業者の営農の継続及び新たな高収益作物の導入による所得の確保により活力ある中山間地域を創り上げていくため、地域の実情に応じた畦畔除去による区画拡大、暗渠排水の整備等の簡易な基盤整備を行う活力ある中山間地域基盤整備事業の実施に関し必要な事項を定めるものとする。



事業採択要件は？

- 農業振興地域内の農地
- 中山間地域
- 受益者数が農業者2者以上
- 事業費が50万円以上1,000万円未満



農地集積、
面積要件がない
しかも定額補助

これだ！

4 事業の実施

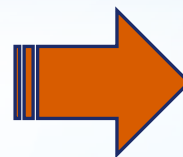
(1) 実施要望の把握

J A レタス部会と連携し、要望者や
要望ほ場の情報などを“きめ細かく”
聞取り



(2) 暗渠（湧水処理）工事施工

- 農家立会のもと、湧水処理管の埋設位置を“きめ細かく”検討
- 県（農村整備室）とともに、管の排水口（水閘）の設置位置（排水高）を“きめ細かく”検討
- 農家確認により、農作業形態に応じて工法を“きめ細かく”選定



具体例は
次画面以降で

4 事業の実施

(2) 暗渠（湧水処理）工事施工

➤ 農家確認により、農作業形態に応じて
工法を“**きめ細かく**”選定

【工法1】

プラウ耕起を行わない
農家の畑
⇒ 10cm程度
までの**耕起**



農業公社の
「ドレーンレイヤー」工法で
被覆材の損傷おそれなし
⇒ 「ドレーンレイヤー」工法
による**湧水処理管理設**

【工法2】

プラウ耕起を行う
農家の畑
⇒ 50cm程度
までの**耕起**



農業公社の
「ドレーンレイヤー」工法では
被覆材が**損傷**
⇒ 従来工法による**バックホウ**
を用いた**湧水処理管理設**

【工法1】 プラウ耕起を行わない農家の畑の施工事例（大塚(1)地区）



ドレンレイヤー



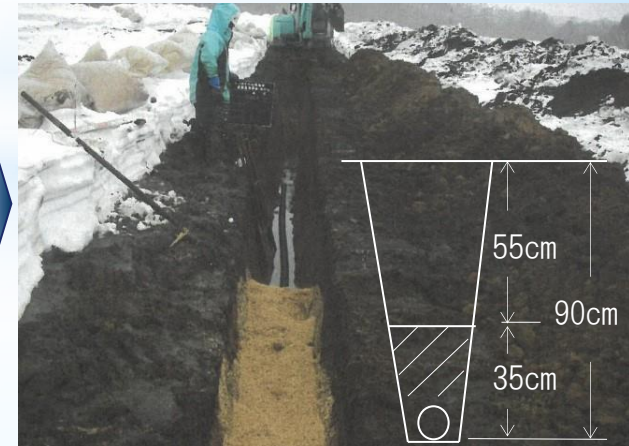
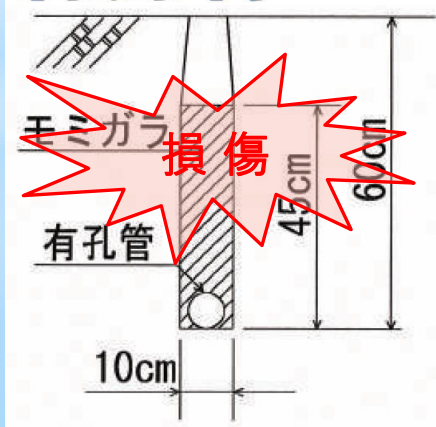
使用せず



【工法2】 プラウ耕起を行う農家の畑の施工事例（奥中山地区）



ドレンレイヤー



4 事業の実施

(3) 区画拡大工事施工



10aの旧水田
(遊休農地) 6区画を
1区画へ。
湧水処理も併せて実施。



整備前



整備後

5 効果

(1) 事業実施農家からの効果聞取結果

平成29年度事業実施
受益者4名の回答平均

とても
悪くなった

1

悪くなった

2

変わらない

3

良くなった

4

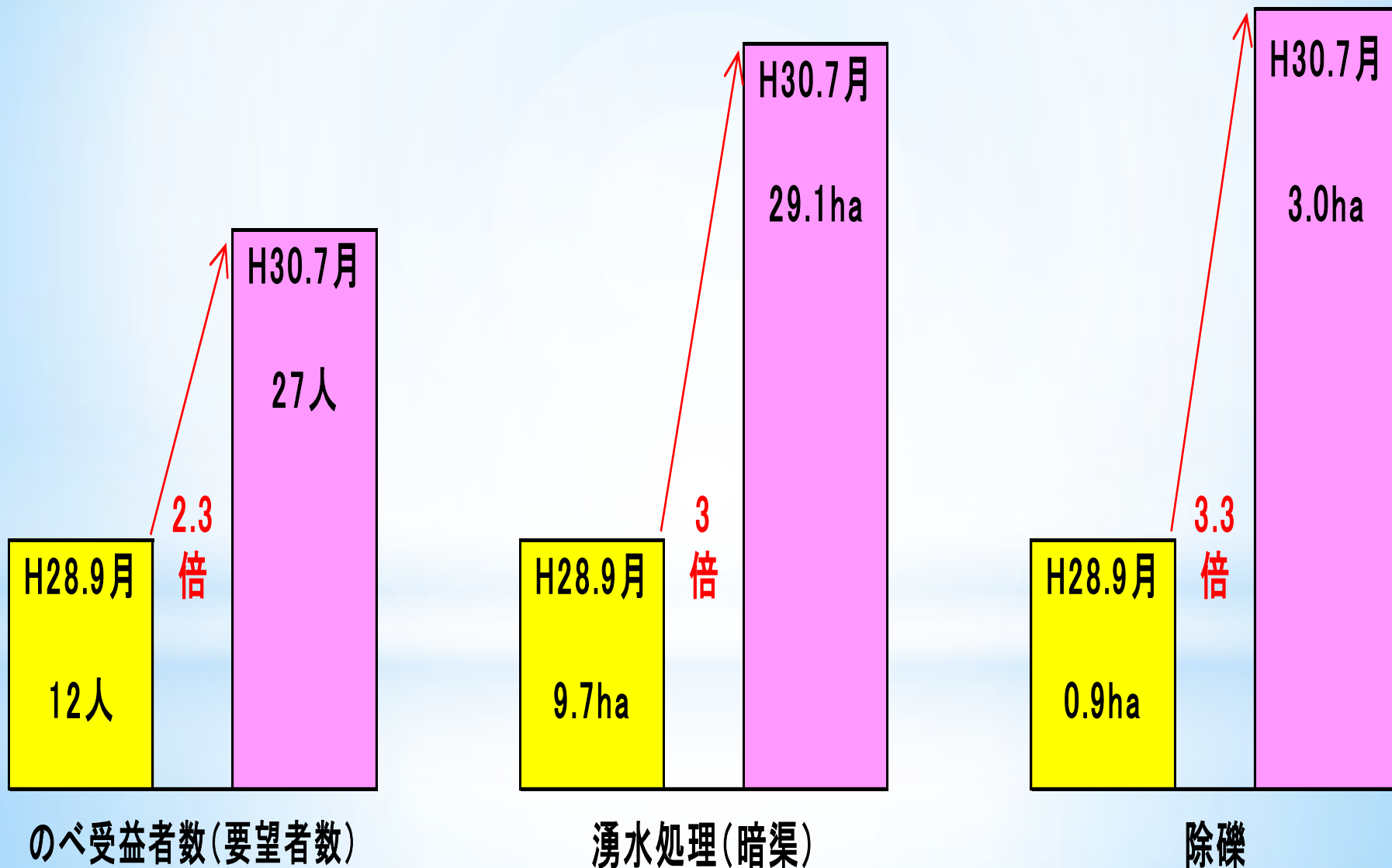
とても
良くなった

5

1. 融雪後の農作業開始が早まった。				4.75
2. 播種(定植)が楽になった。				4.50
3. 農薬散布が楽になった。				4.50
4. 収穫が楽になった。				4.50
5. 出荷が楽になった。				4.50
6. 人力作業全般が楽になった。				4.25
7. 機械作業全般が楽になった。				4.50
8. 単収が向上した。				4.75
9. 品質が向上した。				4.75
10. 規格(玉の大きさ)が向上した。				4.50
11. 病害が減った。				4.50

5 効果

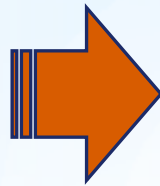
(2) 一戸町における「活力ある中山間地域基盤整備事業」の要望量比較



6 まとめ

【今回の具体例】

➤ 事業目的(趣旨)
に沿った
事業の導入を！



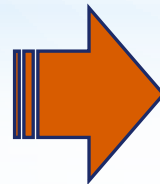
大規模な事業ではなく、
きめ細やかに生産基盤を整備
できる活力ある事業を選定

➤ 地域の要望を
把握するための
工夫を！



地域の状況に詳しい J A
レタス部会と連携し、詳細に
情報を収集

➤ 農家の目線で
営農を踏まえ
た工法を！



農作業形態（プラウ使用の
有無）を把握し、ドレーン
レイヤー／従来工法を選択

7 最後に

「活力ある中山間地域基盤整備事業」は平成31年度までとされており、32年度以降の継続は、今後の要望量等を踏まえ検討するとのこと。

奥中山地域のような中山間地域において、多様な農業者の営農継続等による所得確保のためには、本事業はとても有効。

平成32年度以降の事業継続をぜひ望む。



ご清聴ありがとうございました